

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。この資料並びにコンテンツは、著作権等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記の条件でのみ利用することが出来ます。

1. お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、および使用することができます。
2. お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示および使用条件を一緒に付す必要があります。
3. お客様はこの資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社および当社の関係会社は、お客様に対してこの資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権およびその他の知的財産権をライセンスするものではありません。並びに資料およびコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料、並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権の表示、使用条件を遵守する必要があります。

※このコンテンツはWeb上での使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書と同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

※この資料並びにコンテンツの内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

※デザイン、仕様は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

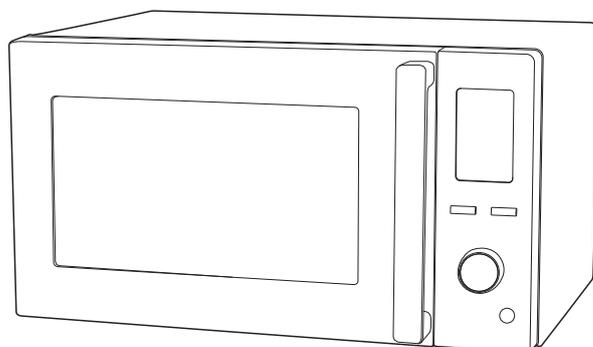
ぜんぶはない。
だから、ある。
TWINBIRD

家庭用

保証書別途

センサー付フラット電子レンジ **DR-F281**

取扱説明書



本製品を正しく安全にご使用いただくためのお願い

- 本取扱説明書をよくお読みください。不適切な取り扱いは事故につながります。
- ご使用前に、本取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
- 本取扱説明書は必ず保管し必要なときにお読みください。
- 本製品は一般家庭用です。業務用に使用しないでください。
- 別添の保証書は、「お買い上げ日」と「販売店名」の記入をお確かめのうえ、本取扱説明書とともに、大切に保管してください。



つながるお得なコンテンツ

会員登録でおトクな情報ゲット!

<https://twinbird-store.jp/c/support-lp.php>

ご使用のまえに

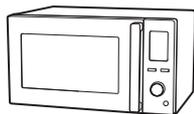
付属品を取り外す

ドアの固定用のテープをはがして、ドアを開けます。

パッケージの内容を確認する

不足するものがありましたら、お客様サービス係 [▶23ページ](#) までご連絡ください。

- 本体
- 付属品：取扱説明書(本書) ×1冊
保証書 ×1枚



「安全上のご注意」を読む

→ 4ページ

本製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用のまえに必ず「安全上のご注意」をお読みください。

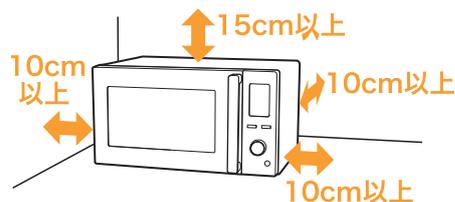
本製品の設置と接続を行う

→ 5ページ

上面は15cm以上、両側面・背面は壁や家具などから10cm以上離して設置する



- ラックや棚の中に設置しないでください。
- 加熱中は本体が熱くなり、排気口からも熱が排出されます。熱に弱い壁紙や家具の近くには設置しないでください。
- テレビやラジオ、無線LANなどのアンテナ線から4m以上、離してください。
- 耐熱温度60°C以下のトッププレートの冷蔵庫上に載せないでください。



感電防止用のアース線を接続する

→ 4ページ

ご家庭にあるアース端子付コンセントにアース線を接続する

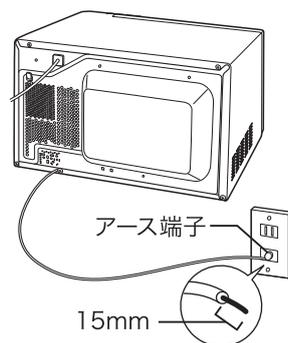
- (1) アース線が本体背面にきちんと取付けられていることを確認します。
- (2) アース線の先端の皮を取りはずします。
- (3)バラけないように芯線をねじり、アース端子にアース線を固定します。



- アース線の先端がコンセントに触れないように注意して、作業をしてください。
- 感電を防止するため、アース線ははずれないように確実に取付けてください。

ご家庭にアース端子付コンセントがない場合

販売店または電気工事店にご相談ください。



調理を開始する

→ 8ページ

「各部の名前とはたらき」からご確認のうえ、使用してください。

目次

▶ 安全上のご注意	4
▶ 各部の名前とはたらき	8
▶ かんたん! ボタンの使いかた一覧	9
▶ 加熱のしくみ	10
▶ ラップのご利用について	11
▶ 調理時のお願い	11
▶ 「使える容器」と「使えない容器」	12
▶ メニューモード	13
あたため	13
解凍	14
飲みもの	15
冷凍食品	16
▶ レンジモード	17
▶ 調理例	18
▶ お手入れ方法	20
▶ こんなときは	21
▶ アフターサービス・仕様	23

安全上のご注意

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
 次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示	表示の意味
 危険	「死亡または重症を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容です。
 警告	「死亡または重症を負うことが想定される」内容です。
 注意	「傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される」内容です。

図記号	図記号の意味
	絶対にしてはいけない「禁止」の内容です。図の中に具体的な内容が表示されます。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。図の中に具体的な内容が表示されます。

 **危険**

 **絶対に分解したり修理や改造は行わない。**
分解禁止
 発火・感電・けがの原因になります。
 修理は、お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。 [→ 23ページ](#)

 **吸気口や排気口や穴などにピンや針金などの金属物、異物、指を入れない。**
禁止
 高温部があり、感電、けがをする恐れがあります。
 異物が入った場合は、お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。 [→ 23ページ](#)

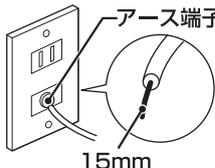
設置するとき

 **警告**

 **安全のため、アース線を確実に取付ける。**
アース線接続
 故障や漏電のときに、感電の原因になります。

アース線の取付け方法

■ アース付きコンセントがある場合

 **アース端子**

- アース線先端の皮をむき、アース端子に固定します。
- アース線の長さが足りないときは、本体付属のアース線をはずし、市販のアース線(導体径1.25mm²以上の物)と交換してください。

15mm

※ アース線の先端がコンセントに触れないように注意して、作業をしてください。
 ※ 感電を防止するために、アース線ははずれないように確実に取付けてください。
 ※ ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

■ アース付きコンセントがない場合
 販売店または電気工事店にアース工事(D種接地工事)を依頼してください。

■ 水気や湿気の多い所に設置する場合は、お買い上げの販売店または電気工事店に依頼して、必ずアース工事(D種接地工事)をしてください。法律で義務付けられています。(本体価格に工事費は含まれません。)

湿気のある場所
 飲食店の厨房、土間、コンクリート床、酒、しょう油などの醸造・貯蔵所。

水気のある場所(漏電遮断機も設置する)
 八百屋・魚屋など水を扱う所、水滴の飛び散る所、地下室など結露が起きやすい所。

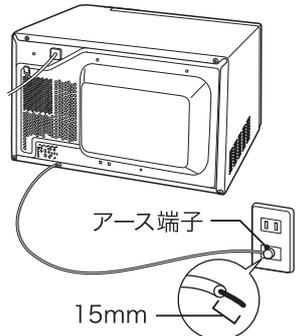
 **吸気口や排気口をふさがない。**
禁止
 本体内部の温度が上がり、故障や発火の原因になります。

 **熱に弱い物、燃えやすい物を近づけない。**
禁止
 たたみ・じゅうたん・テーブルクロスなどの敷物の上に置いたり、カーテンなどの燃えやすい物を近づけないでください。変形・変色・反りの原因になります。

 **火気(コンロやストーブ)などの近く、水や油のかかる場所に置かない。**
禁止
 火災・感電・漏電の原因になります。

 **電源コードは、排気口や温度の高い部分に近づけない。**
禁止
 火災・感電の原因になります。

 **庫内の包装材を取り出す。**
強制
 焦げ・変形・発火の原因になります。



アース端子

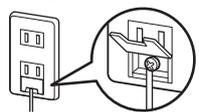
15mm

● **つまみタイプ**



つまみに巻き付ける

● **ふた付タイプ**



ふたを開けてネジでつける

注意



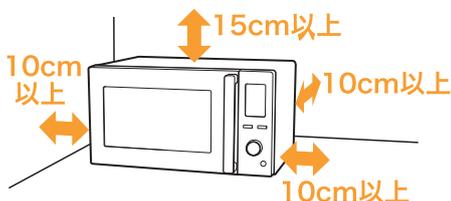
壁や家具から離して設置する。

過加熱により故障したり、発火・火災の原因になります。加熱中は本体が熱くなり、排気口から熱が排出されます。上面は15cm以上、両側面・背面は壁や家具などから10cm以上離して設置してください。

- 次のようなところに設置しないでください。

ラックや棚の中
天面がプラスチック製の冷蔵庫
天面がプラスチック製の置き台
熱に弱い壁紙や家具の近く

- テレビやラジオ、無線LANなどのアンテナ線から4m以上離してください。
- 製品近くでは無線LAN機器の通信機能が低下することがあります。
(無線LAN機器の取扱説明書などをお読みのうえ、ご使用ください。)



本体の上に物を置かない。

過熱したり、変形することがあります。



下のすき間に物を入れて使用しない。

けが・感電や電波漏れの原因になります。



転倒や落下させない。

けが・感電や電波漏れの原因になります。

- 不安定な場所に置かないでください。
- 置き台からはみ出さないでください。
- ドアに無理な力を加えないでください。



転倒・落下したときは、外部に損傷がなくてもそのまま使用せず、必ずお買い上げの販売店に点検を依頼してください。

電源プラグ・電源コードを取り扱うとき

警告



定格15A以上、交流100Vのコンセントを単独で使用する。

他の器具と併用したり、延長コードやソケット、テーブルタップなどは使用しないでください。分岐コンセント部が発熱して、発火の原因になります。



電源コードを傷つけない。

電源コードを破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工しないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んだり汚れていたり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む。

感電や発熱により火災の原因になります。



電源プラグに異物やゴミを付着させない。

感電・ショート・発火の原因となります。プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。



電源プラグをなめさせない。

特に乳幼児にはご注意ください。やけど・感電・けがをする恐れがあります。



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

感電・やけど・けがの恐れがあります。



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。

ショート・感電の恐れがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電・発熱により火災の原因になります。



電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る。

火災・感電の原因になります。特に転居する際はご注意ください。

使用するとき

警告



調理中に電源プラグの抜き差しをしない。

火花が発生し、感電・発火の原因になります。
[取消]ボタンを押してから、電源プラグを抜いてください。

禁止



取り扱いに不慣れなただけで使わせたり、子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。

やけど・感電・けがをする恐れがあります。

禁止



食品を加熱しすぎない。

発火・発煙・突沸の恐れがあります。

- 根菜類(さつまいもなど)は、必要以上に加熱すると焦げたり、発火・発煙の恐れがあります。
- 少量の物、油が付いた物は発火・発煙の恐れがありますので、様子を見ながら加熱します。やけどの恐れがあります。
- あんまんなど中身に水分が多く含まれる物は、中が先に熱くなります。

禁止



飲み物や油脂の多い食品は加熱しすぎない。(突沸に注意)

取り出すときに突然沸とうして飛び散ることがあり、やけどの恐れがあります。様子を見ながら加熱してください。加熱しすぎたときは、そのまま20秒ほど庫内で冷ましてから取り出してください。

- 飲み物をあたためるときは「メニューモード 飲みもの」で加熱してください。➔15ページ
- 加熱前・加熱後は、必ずスプーンでかき混ぜてください。
- 容器は庫内表示に合わせて置いてください。

禁止



レンジ加熱では、ビンや密封容器の栓やふたははずす。

破裂によるけが・やけどの恐れがあります。

強制



卵はそのまま加熱しない。

破裂によるけが・やけどの恐れがあります。
卵は割りほぐしてから加熱してください。

禁止



ゆで卵のあたためをしない。

破裂によるけが・やけどの恐れがあります。

禁止



殻・膜などがある食品は、切れ目や割れ目を入れてから加熱する。

ぎんなんや栗、イカなどは破裂によるけが・やけどの恐れがあります。

強制



ベビーフードや介護食、乳幼児のミルクをあたためるときは、加熱後、かき混ぜてから温度を確認する。

やけどの恐れがあります。中身をかき混ぜて温度を均一にしてから、仕上がり温度を確認してください。

強制



100g未満の食品・飲み物は「メニューモード」で加熱しない。

食品・飲み物の温度が正しく検知されず、過加熱となり、飲み物が沸とうしたり、食品が発火・発煙する原因になります。

禁止



ふたのある容器はメニューモードに使用しない。

ふたがあると食品の温度が正しく検知されず過加熱となり、食品の発火・発煙や容器が割れる原因になります。

禁止



製品の丸洗い・水洗いは絶対にしない。

感電や漏電の原因になります。

禁止

注意



食品は容器の形状に合わせて置く位置を変える。

マグカップは■のマークに、他の容器は庫内中央に置いてください。正しい位置に置かないと赤外線センサーが検知できず、食品の発煙・発火や突沸の恐れがあります。

強制



調理以外の目的で使用しない。

過熱・異常動作や破裂して、発火したり火災の原因になります。

禁止

- 空の容器や庫内が空(食品なし)の状態では使わないでください。
- 庫内を収納庫として使わないでください。
- 衣類の乾燥などに使わないでください。



ドアが損傷した場合は使用しない。

修理はお買い上げの販売店に依頼してください。

禁止



調理中は庫内を時々確認する。

プラスチック容器などの燃えやすい物を使う場合は、加熱中に発火していないかを確認してください。

強制



汚れている庫内で加熱しない。

付着した食品カスや油が焦げて、火花が出たりします。
こまめにお手入れをしてください。

禁止



庫内やドアに油や食品カス、煮汁などを付けたまま放置したり、加熱したりしない。

さび・発火・発煙などの原因になります。
付着した場合は、本体が冷めてから必ずふき取ってください。➔20ページ

禁止



ドアに衝撃を加えない。 急冷したり、水をかけたりしない。 損傷した場合は使用しない。

割れる恐れがあります。

禁止



ドアや取っ手に無理な力を加えない。

本体が倒れて、けがをしたり、電波漏れの原因になります。

禁止

使用するとき(つづき)

注意



庫内やドアに物をぶつかけたり、ドアに物を挟んだまま使わない。

禁止

庫内やドアに物をぶつかけたり、ドアに物を挟んだまま使わないでください。電波漏れやドアガラスが割れる原因になります。



家庭用の発電機では使用しない。

禁止

正常に動作しない場合があります。



鮮度保持剤を入れたまま加熱しない。

禁止

発火する恐れがあります。



金属容器やアルミホイルなどを使用しない。

禁止

缶詰やレトルト袋の食品は、容器に移してください。金串・アルミケース・アルミキャップ・アルミテープを使用して加熱しないでください。火花が出て、発火・発煙・ドアガラスの割れる原因になります。



密閉状態にならないようにする。

強制

破裂によるけが・やけどの恐れがあります。



接触禁止

調理中や調理後しばらくは、ドア、庫内、その周辺に触れない。

やけどの原因になります。庫内にある食品の出し入れは、お手持ちのミトンなどを使用してください。



強制

ラップをはずすときは蒸気に注意する。

ラップをはずすときに、蒸気が一気に吹き出てやけどやけがをする恐れがあります。注意してゆっくりはずしてください。また油分の多い料理は高温になりラップが溶ける場合があります。



禁止

発泡トレーは使わない。

溶けるため、使わないでください。

異常なとき・故障したとき

警告



庫内の食品から発火したり発煙したときは、ドアを開けない。

禁止

ドアを開けると酸素が入り、勢いよく燃えます。次の処置をしてください。

- (1) ドアを閉めたまま[取消]ボタンを押す。
- (2) 電源プラグを抜く。
- (3) 本体から燃えやすい物を遠ざけ、鎮火するのを待つ。

鎮火しない場合は、水か消火器で消火する。

そのまま使用せず、必ず販売店に点検を依頼してください。



強制

異常・故障時には直ちに使用を中止し、コンセントから電源プラグをはずす。

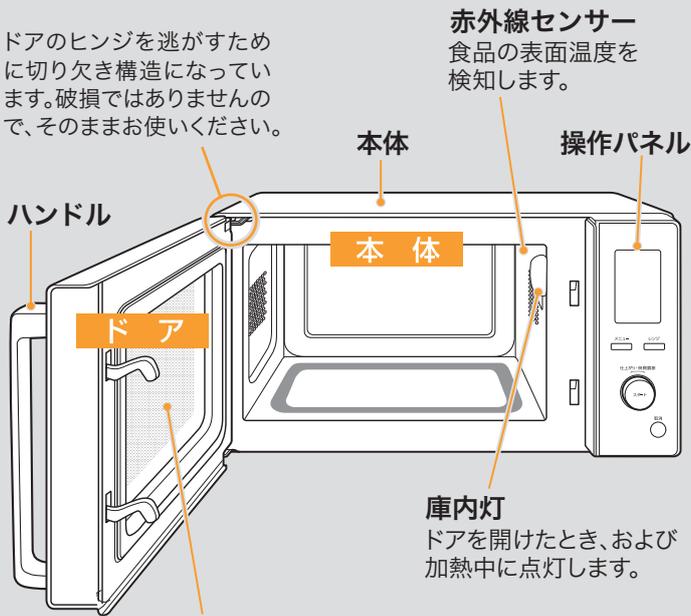
発煙・発火・感電・けがの原因になります。販売店に点検・修理を依頼してください。

- [スタート]ボタンを押して調理を開始しても食品が加熱されない。
- 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードに傷が付いていたり、電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 自動的に切れないときがある。
- 焦げくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がする。
- ドアに著しいガタがある。
- ドアや庫内に著しい変形がある。
- 本体に触れると電気を感じる。
- その他の異常・故障がある。

各部の名前とはたらき

本体前面

ドアのヒンジを逃がすために切り欠き構造になっています。破損ではありませんので、そのままお使いください。



透明のシートは内側の汚れを防止する特殊な物です。剥がさないでご使用ください。

赤外線センサー
食品の表面温度を検知します。

本体

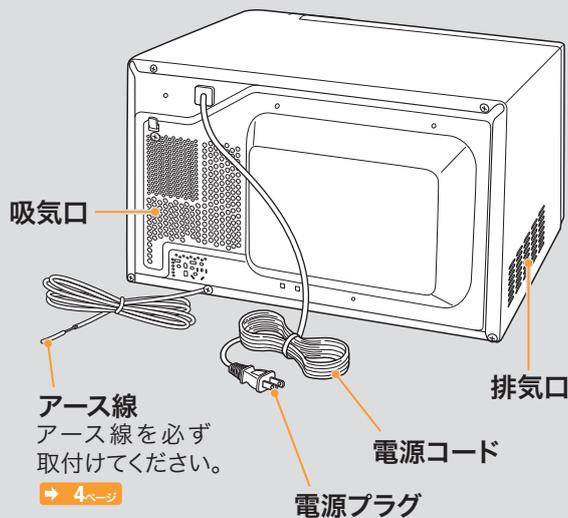
操作パネル

本体

庫内灯

ドアを開けたとき、および加熱中に点灯します。

本体背面



アース線
アース線を必ず取付けてください。
→ 4ページ

電源プラグ

ご注意

加熱後、電気部品を冷却するためファンが回転します。ファン回転中は電源プラグを抜かないでください。

操作パネル

電源プラグを差し込むとブザー音が「ピッ」となって表示部が点灯します。

メニューモードボタン

メニューモード設定をするときに押します。赤外線センサーを用いて、自動で調理するモードです。

あたため → 13ページ

解凍 → 14ページ

飲みもの → 15ページ

冷凍食品 → 16ページ

レンジモードボタン

レンジモード設定をするときに押します。 → 18ページ

600W、500W、200W、100W、1000W、900W切り替え

最大設定時間：15分※

※ 1000Wは1分30秒、900Wは3分経過した後は600Wへ出力が切り替わります。

ダイヤル

[回す]・加熱時間を設定します。

10秒から10分：10秒単位で表示

10分から15分：30秒単位で表示

・メニューモードの仕上がりを設定します。

弱 ↔ 中 ↔ 強

左右どちらに回しても設定できます。

スタートボタン

[押す] 加熱をスタートします。



オートオフ機能

調理後1分たつと、液晶表示が消灯します。 → 9ページ

表示部

加熱時間、出力、モード、残り時間、エラーなどを表示します。

高温表示

連続使用などで本体が高温となったときは、製品保護のため、1000W、900W出力ができなくなり「hot」と表示されます。 → 21ページ

消音機能

[取消]ボタンと[レンジモード]ボタンを2秒長押しすることでブザー音をOFF(🔇)にします。 → 9ページ

取消ボタン

加熱を中止するときや、ボタンを押し間違えたときに押します。表示部の表示が「あたため」に戻ります。

かんたん! ボタンの使いかた一覧

モード選択	メニュー選択	仕上がり調節	開始
<p>自動であたためたいとき</p> <p>メニュー</p> <p>あたため 解凍 飲みもの 冷凍食品</p>	<p>メニュー</p> <p>押す</p> <p>1回</p> <p>2回</p> <p>3回</p> <p>メニュー あたため</p> <p>メニュー 解凍</p> <p>メニュー 飲みもの</p> <p>メニュー 冷凍食品</p>	<p>スタート</p> <p>回す</p> <p>弱</p> <p>中</p> <p>強</p>	<p>スタート</p> <p>押す</p>

モード選択	出力選択	時間設定	開始
<p>手動であたためたいとき</p> <p>レンジ</p> <p>600W 500W 200W 100W 1000W 900W</p>	<p>レンジ</p> <p>押す</p> <p>1回</p> <p>2回</p> <p>3回</p> <p>4回</p> <p>5回</p> <p>6回</p> <p>600_w</p> <p>500_w</p> <p>900_w</p> <p>200_w</p> <p>1000_w</p> <p>100_w</p>	<p>スタート</p> <p>回す</p> <p>10秒~15分を設定 (1000Wは1分30秒、 900Wは3分経過した後は 600Wへ出力が切り替わります。)</p>	<p>スタート</p> <p>押す</p>

かんたん! ボタンの使いかた一覧

機能について

温度過昇防止機能 …… レンジ加熱を 30 分以上（15 分×2 回）連続して使用した場合など庫内の温度が高温になると、温度過昇防止機能がはたらき、運転が停止します。ドアを開けて庫内の温度を冷ましてから使用します。

お知らせ機能 …… 調理後、取り出さないと 1 分毎にお知らせ音（ピピッと 5 回）が鳴ります。ドアを一度開けて、解除します。

リセット機能 …… 操作途中で 1 分間何も操作しないと、初期表示「メニューモード あたため」に戻ります。

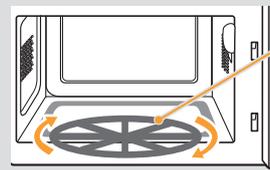
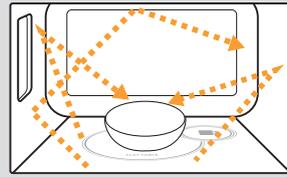
オートオフ機能 …… 調理後や、初期表示「メニューモード あたため」のまま約 1 分たつと液晶表示が消灯します。ドアを開けると再び点灯します。

消音機能 …… [取消] ボタンと [レンジモード] ボタンを 2 秒長押しすることでブザー音を OFF (🔇) にします。消音設定中はブザー音の代わりに表示が点滅します。電源プラグをコンセントから抜くと、設定はリセットされます。消音設定中は表示部にマーク (🔇) が表示されています。

デモモード …… 表示部に「d」と表示されたり、表示が自動的に切り替わっているときは、店頭用のデモモードです。
 <解除方法>
 1 回ドアを開閉して表示部に「d」を表示させます。「d」が表示されているときに、[メニューモード] ボタン、[レンジモード] ボタン、[スタート] ボタンを同時に 3 秒長押しします。表示部に「メニューモード あたため」が表示されることを確認ください。表示部に「メニューモード あたため」以外が表示された場合は、ドア開閉から繰り返してください。

加熱のしくみ

レンジ加熱では、電波を照射することによって食品の中の水分がぶつかり合い、摩擦熱が発生します。その熱で食品全体を加熱します。電波は、庫内底面から照射されます。



底面に内蔵した反射板を回転させることでマイクロ波を乱反射させています。

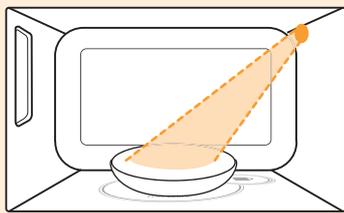
ポイント



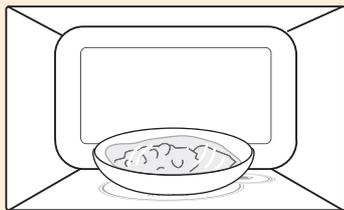
- 加熱時間は、食品の分量にほぼ比例します。食品の分量により加熱時間を調節してください。
- 食品の温度によって、加熱時間は変わります。温度が低ければ、加熱時間を長くしてください。
- メニューモードでは、時間調整は不要です。

メニューモード (赤外線センサーを使った自動調理のこつ)

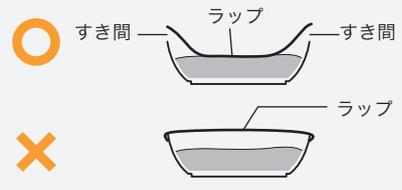
加熱中の調理物の温度を検知し、適温にあたためます。センサーは右奥側にあります。



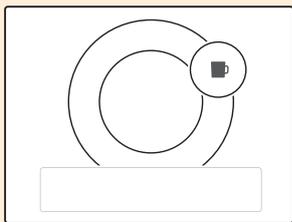
加熱中は が順に点滅します。加熱状況によっては、途中から残り時間を表示する場合があります。調理物の表面温度を検知するため、冷凍肉などで表面が溶けていた場合、うまく解凍できない場合があります。モードにより、加熱ムラを抑えるため、出力を変化させて加熱しています。パッケージの記載とは、あたたまりの状態や加熱時間が異なる場合があります。



煮物、蒸し物、カレーやシチューなどの汁物にはラップをかけます。容器のふちまでラップをかけると、蒸気がラップ内に充満し、調理物の温度が検知できません。容器のふちにすき間ができ、ラップが食品表面に触れるようにゆったりとかけてください。



食品の上手な置きかた

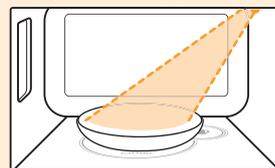


容器の形状に合わせて置いてください。複数の容器で同時にあたためる場合は、同じ形の容器に同じ食品を均等に入れ、必ず一つは中央に置いてください。マグカップの場合は、必ず一つは マークに置いてください。

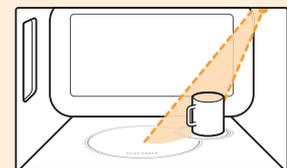
<容器の形と大きさの目安>



<置きかたの例>

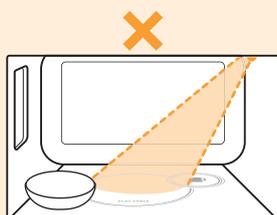


容器は中央に置く。

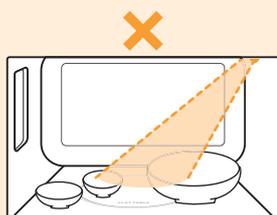


マグカップは マークに置く。

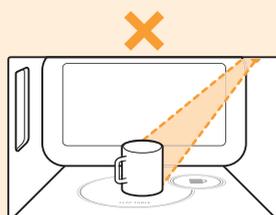
以下のような場合、熱くなりすぎたり、食品を検知できずエラーになる場合があります。エラー「E02」が出たら、容器の位置や形を変えてください。



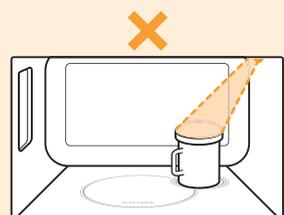
食品が検知できない場所にある。



大きさの違う容器を使っている。



背の高い容器を使うと食品温度が検知できない。



ふたをしったり、ラップをピッタリと張ると食品の温度が検知できない。

ラップのご利用について

モードボタン	ラップ		ポイント
	しない	する	
あたため →13ページ ×メニュー <input type="checkbox"/>	○	※	※煮物、蒸し物、とろみのある物、冷凍した食品(調理済)、はじけやすい物にはラップを食品表面に触れるようにゆったりかけ、容器のふちが密閉されないようにします。
解凍 →14ページ <input type="checkbox"/>	○		ラップやふたをせずに解凍します。
飲みもの →15ページ <input type="checkbox"/>	○		ラップやふたをしないでください(突沸に注意)。
冷凍食品 →16ページ <input type="checkbox"/>	○	※	※煮物、蒸し物、とろみのある物、冷凍した食品(調理済)、はじけやすい物にはラップを食品表面に触れるようにゆったりかけ、容器のふちが密閉されないようにします。
レンジ <input type="checkbox"/> レンジモード →17ページ	○	※	※煮物、蒸し物、とろみのある物、冷凍した食品(調理済)、はじけやすい物にはラップを食品表面に触れるようにゆったりかけ、容器のふちが密閉されないようにします。

- ラップはゆるめにします。きっちりラップをすると、破裂のおそれがあります。
- ラップは容器全体にしないで、フチに2か所ほどすき間を作っておくと、容器が熱くなりにくくなります。

調理時のお願い

容器は加熱に合った物を使用する

使える容器と使えない容器があります。加熱に合った容器を使用してください。 **→12ページ**

容器を急に冷やさない

加熱後、庫内にあった容器を急に冷やさないでください。ヒビが入ったり、割れたりすることがあります。また、本体のドアに水をかけたりしないでください。

庫内が熱いときは冷ましてから使用する

レンジ加熱で30分以上(15分×2回)連続して使用した場合など庫内の温度が高温になると、温度過昇防止機能がはたらき、電源が切れます。その場合は、ドアを開けて庫内の温度を冷ましてから使用してください。

容器を引きずらない

取り出すときに容器を引きずらないでください。容器が割れたり、庫内に傷が付きます。

加熱調理時

卵はそのまま加熱しない

卵は割りほぐしてから加熱してください。

殻・膜などがある食品は、切れ目や割れ目を入れてから加熱する

ぎんなんや栗、イカなどは破裂によるけが・やけどの恐れがあります。

加熱しすぎない

加熱しすぎると、発煙したり、発火したりします。また、飲み物は取り出したときに、急に沸とうすることがあります。やけどをすることがありますので、十分に気を付けてください。

密封された容器は加熱しない

完全に密封された容器に入った食品を加熱しないでください。容器が破裂し、危険です。ふたや栓を取ってから加熱してください。

食品を入れずに加熱しない

食品を入れずに加熱すると、本体部品の劣化や故障の原因になります。

金串などの金属類やアルミホイルは使用しない

缶詰やレトルト食品、アルミホイルで包んだ食品を加熱しないでください。火花が散って、庫内に傷が付きます。

鮮度保持剤(脱酸素剤)などを入れたまま加熱しない

火花が出て、庫内を傷つけることがあります。

換気をしながら調理する

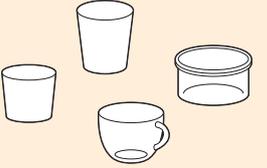
煙が多く出る場合があります。

メニューモードのとき

加熱が足りないときは、「レンジモード」を使う

様子を見ながら加熱を追加してください。メニューモードを使うともう一度始めから加熱をすることになり、食品が焦げたり、発火することがあります。

「使える容器」と「使えない容器」

ガラス	耐熱性のある容器 	○	⚠ 急熱・急冷すると割れることがあります。
	耐熱性のない容器 強化ガラス カットグラス クリスタルグラスなど 	×	強化ガラス・カットグラスも使用できません。
プラスチック・シリコン	耐熱性のある容器 ※耐熱温度140℃以上 	○	耐熱温度140℃以上の物で「電子レンジ使用可能」表示のある物は使用できます。ふたは熱に弱い物があるため、耐熱温度を確認してください。 警告 ⚠ ● 油分や糖分の多い食品は高温になるため、耐熱温度を確認してください。 ● 長時間使用すると、変形したり溶けたりすることがあります。 ● 蒸し物をするときは使用しないでください。 ● ふたつき容器（密閉容器など）を使うときは、必ずふたをはずして加熱してください。加熱をしすぎた場合、発煙・発火・突如の沸とう（汁物など）の原因になります。
	耐熱性のない容器 (発泡トレイなど) ※耐熱温度140℃未満 	×	スチロール、ポリエチレン、メラミン（幼児用食器）、フェノール、ユリアなどは、溶けたり焦げたりすることがありますので、使用できません。
陶磁器・漆器など	陶磁器 	○	ご注意 ● 急熱・急冷すると割れることがあります。 ● 絵柄やヒビ、金銀模様のある器は、傷んだり、火花が飛び散ることがありますので、使用できません。 ● 素焼きの陶器など吸水性の高い器は熱くなることがありますので、注意してください。
	漆器 	×	塗りがはげたり、ヒビ割れが起こることがありますので、使用できません。
金属・ステンレス	アルミ、ステンレス、ホーローなどの金属容器 	×	火花が出て、庫内を傷めるため、使用できません。 注意 ⚠ ● 金串・金網、金・銀箔のフィルムやテープ、針金の入った物も使用できません。 ● 取っ手が樹脂の物は熱に弱いため、使用できません。
その他	木・竹・紙 	×	焦げたり、燃えたりすることがありますので、使用できません。
	特殊な形をした容器 	×	注ぎ口が細長い容器などでレンジ加熱をすると、細い部分が特に加熱されるため、取り出したときに突然に内容物が飛び出る「突沸」が起こることがあります。やけどの原因になりますので、使用しないでください。
	ラップ ※耐熱温度140℃未満 	○	警告 ⚠ 油分の多い料理は高温になり、溶けるため使えません。
	アルミホイル 	×	火花が出て使用できませんが、肉や魚の解凍では部分的に使用することがあります。魚の尾に巻いたりして、電波量を加減することができます。
	オープン用クッキングシート 	○	ケーキ作りで使用する硫酸紙、オープン用クッキングシートなどは使用できます。

ここに記載がない容器については、容器の製造会社にお問い合わせください。

メニューモード

よく使うメニューは、自動加熱で簡単に調理する

あたため 常温や冷蔵のおかず・お弁当など レンジ加熱

ポイント



- 食品が1つの場合は中央に置きます。複数の場合は必ず一つは中央に置きます。
- 蒸し物、カレーやシチューなどの汁物は、乾燥を防ぐためにラップを食品表面に触れるようにゆったりかけます。
- 量が多いときは、複数の容器に小分けにすると、均等に加熱されます。



中央に置く



一つは中央に置く

注意



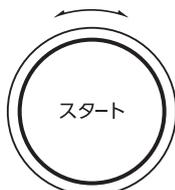
- 飲み物は、「メニューモード 飲みもの」であたためてください。▶15ページ
- 飲み物を「メニューモード あたため」で加熱すると、突然、沸とうすることがあります。
- ピンなどふたがある物ははずしてください。
- イカや栗などは、切れ目や割れ目を入れてください。イカや栗が破裂して、危険です。
- レトルト食品や缶詰は、容器に移して加熱してください。アルミ製の袋や容器に入った食品は加熱できません。
- 殻付きの卵や、殻をむいたゆで卵をレンジ加熱しないでください。卵が破裂し、危険です。

準備

食品を入れて、ドアを閉じる

1

仕上がり状態を調節するときは、



を回す

「強」・・・仕上がり温度を上げたいとき
「弱」・・・仕上がり温度を下げたいとき
小さな容器の場合、強めに加熱されますので、仕上がりを「弱」にしてください。



「強」、「弱」を選びます。

2



を押す



「中」が順に点滅します。

- 加熱状況によっては途中から残り時間を表示する場合があります。
- 加熱途中でドアを開けると、一時停止します。[スタート]ボタンを押すと、再スタートします。

- 終了音(ピッピッと5回)が鳴ります。
- 表示部に「End」を表示します。

終了 食品を取り出す

ご注意

庫内が熱いときは「レンジモード」を使う

レンジの連続使用後など、庫内が熱いときは赤外線センサーが正しく検知できず、あたたまらないまま、すぐに「End」を表示する場合があります。

解凍 冷凍した生肉や魚介など

レンジ加熱

ポイント



- 冷凍するときは、食品の厚みを3cm以下に揃えて、小分けしておいたほうがより上手に解凍できます。
- 変色や煮えを防ぐため、部分的(魚の尾など細い部分や薄い部分)にアルミホイルを巻きます。アルミホイルは、庫内壁面やドアに触れないようにしてください。火花が出て、発火・発煙の原因になります。
- 同時に2つ以上を解凍するときは、同じ種類の物で同じ大きさの物にして、必ず一つは中央に置きます。
- 3cm以上の厚みがある冷凍食品は、表面が解凍されると中が凍ったままでもあたためが終了することがあります。
- 大皿にラップかペーパータオルを敷き、その上に食品を置きます。ラップはしないでください。
- 冷凍ごはんの解凍は、解凍ではなく、メニューモードの「あたため」で加熱してください。
- 表面が溶けかかった状態で解凍すると、センサーが溶けた表面温度を感知して、中が凍ったままでもあたためが終了することがあります。その場合は、「レンジモード」を4回押して100Wを選び、手動で時間を設定してください。

警告



- 100g未満の食品は上手に解凍できません。
- 食品の厚みが不均一だと、薄い部分が煮えやすくなります。
- 食品を包装している発泡スチロール製のトレイのまま解凍しないでください。溶けることがあります。



仕上がり・時間調節



取消



準備

食品を入れて、ドアを閉じる

- 食品は中央に置きます。

1

メニュー



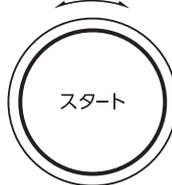
を1回押して「解凍」
を表示する



「解凍」を
表示します。

2

仕上がり状態を調節するときは、



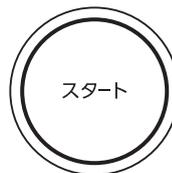
を回す

「強」・・・仕上がり温度を上げたいとき
「弱」・・・仕上がり温度を下げたいとき



「強」、「弱」を
選びます。

3



を押す



「中」が順に
点滅します。

- 加熱状況によっては途中から残り時間を表示する場合があります。
- 加熱途中でドアを開けると、一時停止します。[スタート]ボタンを押すと、再スタートします。

- 終了音(ピッピッと5回)が鳴ります。
- 表示部に「End」を表示します。

終了 食品を取り出す

ご注意

庫内が熱いときは「レンジモード」を使う

レンジの連続使用後など、庫内が熱いときは赤外線センサーが正しく検知できず、あたためまま、すぐに「End」を表示する場合があります。

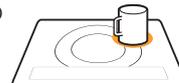
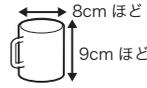
飲みもの 牛乳・コーヒーなど

レンジ加熱

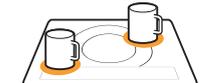
ポイント



- マグカップは右奥の マークの上に置きます。複数の場合も必ず マークの上に1個置きます。
- みそ汁など、液体が沈殿しやすい物は加熱前にかき混ぜてください。
- 加熱後は、必ずかき混ぜてください。
- 1杯の目安は、約200mlで、60°Cほどになります。
(容器や飲み物の種類・量によって変わります。)
- 容量が少なかったり、口がせまいカップの場合、加熱しすぎることがあります。



右奥の に置く
(マグカップ)



必ず一つは の上に置く
(マグカップ)

警告



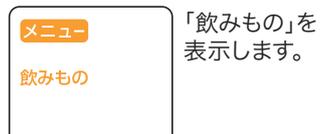
- 加熱しすぎないでください。取り出すときに突然沸とうして、内容物が飛び散ることがあります。加熱しすぎたときは、そのまま20秒ほど庫内で冷ましてから取り出してください。
- 牛乳ビンや牛乳パックをそのまま加熱しないでください。割れたり、破裂することがあります。
- 粒入りのスープをあたためるときは、具がはねやすいのでラップをおとしふたのように置いて、「レンジモード」で様子を見ながら加熱してください。

準備

飲み物を入れて、ドアを閉じる

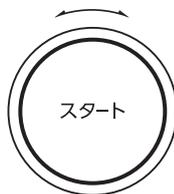
1

メニュー を2回押して「飲みもの」を表示する



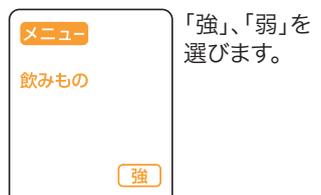
2

仕上がり状態を調節するときは、



を回す

「強」…少し熱めにしたとき
「弱」…ぬめにしたとき



3



を押す



- 加熱状況によっては途中から残り時間を表示する場合があります。
- 加熱途中でドアを開けると、一時停止します。[スタート]ボタンを押すと、再スタートします。

- 終了音(ピッピッと5回)が鳴ります。
- 表示部に「End」を表示します。

終了 飲み物を取り出す

- 内容物をかき混ぜます。

● 加熱が足りないときは、「レンジモード」で追加加熱します。加熱しすぎに注意して、様子を見ながら加熱してください。

ご注意

庫内が熱いときは「レンジモード」を使う

レンジの連続使用後など、庫内が熱いときは赤外線センサーが正しく検知できず、あたたまらないまま、すぐに「End」を表示する場合があります。

冷凍食品

レンジ加熱

ポイント



- 1人分がセットになった冷凍弁当などをあたためます。必ず「電子レンジ可」と記載のある、市販の冷凍食品をお使いください。
- 袋やフタについては、パッケージの記載通りにします。ラップをするときは、ゆとりをもたせて軽くかぶせてください。
- パッケージに「皿にのせて加熱する」と記載されている食品は、耐熱性の大皿にのせます。
- 食品は中央に置いてください。
- 背の高い容器は右奥の■マークの上に1個置きます。

警告



- 「自動調理不可」と記載のあるものはメニューモードでは加熱しないでください。加熱のしすぎで発煙・発火・突沸やあたため不足の原因になります。パッケージの記載を参考にして、レンジモードで様子を見ながらあたためてください。

準備

冷凍食品を入れて、ドアを閉じる

1

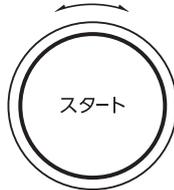
メニュー
を3回押して「冷凍食品」
を表示する



「冷凍食品」を
表示します。

2

仕上がり状態を調節するときは、



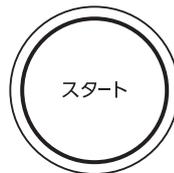
を回す

「強」…仕上がり温度を上げたいとき
「弱」…仕上がり温度を下げたいとき

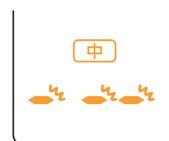


「強」、「弱」を
選びます。

3



を押す



「中」が順に
点滅します。

- 加熱状況によっては途中から残り時間を表示する場合があります。
- 加熱途中でドアを開けると、一時停止します。[スタート]ボタンを押すと、再スタートします。

- 終了音(ピッピッと5回)が鳴ります。
- 表示部に「End」を表示します。

終了 食品を取り出す

- 加熱が足りないときは、「レンジモード」で様子を見ながら追加加熱します。

ご注意

庫内が熱いときは「レンジモード」を使う

レンジの連続使用後など、庫内が熱いときは赤外線センサーが正しく検知できず、あたたまらないまま、すぐに「End」を表示する場合があります。

冷凍室から取り出してすぐに加熱してください。また、霜のついている物はうまくあたたまらない場合があります。

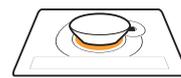
レンジモード

出力、調理時間を手動で設定する

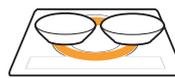
ポイント



- 食品が1つの場合は中央に置きます。複数の場合は同一円周上に置きます。
- 蒸し物、カレーやシチューなどの汁物は、乾燥を防ぐためにラップを食品表面に触れるように、ゆったりとかけます。
- 量が多いときは、複数の容器に小分けにすると、均等に加熱されます。



中央に置く



同一円周上に置く

警告



- 飲み物は、「メニューモード 飲みもの」であたためてください。▶15ページ
- ビンなどふたがある物ははずしてください。
- イカや栗などは、切れ目や割れ目を入れてください。イカや栗が破裂して、危険です。
- レトルト食品や缶詰は、容器に移して加熱してください。アルミ製の袋や容器に入った食品は加熱できません。
- 殻付きの卵や、殻をむいたゆで卵をレンジ加熱しないでください。卵が破裂し、危険です。
- お銚子でお酒の燗をするときは、様子を見ながらあたためてください。
お酒の量は、7分目程度にして、首の細い部分より下になるようにしてください。お酒をお銚子の口いっぱいまで入れると、首の細い部分の温度が熱くなりすぎたり、お酒が熱で膨張してこぼれたりします。

準備

食品を入れて、ドアを閉じる

1

レンジ

を押す

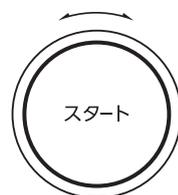
押すたびに出力が切り替わります。

- 1回: 600W
- 2回: 500W
- 3回: 200W
- 4回: 100W
- 5回: 1000W
- 6回: 900W



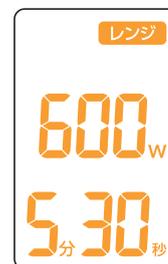
選択した出力を表示します。

2

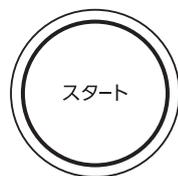


を回して、加熱時間を設定する

- 加熱時間の目安 ▶18ページ

設定した時間を表示します。
最大加熱時間15分（1000Wは1分30秒、900Wは3分経過した後は600Wへ出力が切り替わります。）

3



を押す

- 終了までの残り時間を表示します。
- 加熱途中でドアを開けると、一時停止します。[スタート]ボタンを押すと、再スタートします。
- 加熱中にダイヤルを回すことで、時間の延長ができます。

- 終了音(ピッピッと5回)が鳴ります。
- 表示部に「End」を表示します。

終了 食品を取り出す

注意



ラップをはずすとき、蒸気が一気に吹き出すことがあります。やけどをしないように注意してゆっくりはずしてください。

調理例 (レンジモード)

●加熱時間は目安です。分量や状態、容器により加熱時間は異なります。

市販の加工食品や冷凍食品（レンジ用）は、パッケージの指示を参考にして、様子を見ながらあたためてください。

あたため(室温・冷蔵)

食品名	分量	出力	加熱時間	ラップ	コツとポイント
冷やごはん	1杯(150g)	900W	約50秒	—	かためのときは、霧吹きなどで水をかける。
コンビニ弁当	1人前(400g)	600W	2分～2分30秒	—	中身によって出来上がり具合が異なるため、様子を見ながら加熱する。
焼きそば・スパゲティ	1人前(250g)	900W	約1分50秒	する	加熱後、かき混ぜる。また、パサ付いているときは、サラダ油かバターを少し混ぜる。
天ぷら・フライ	1人前(150g)	600W	約1分	—	キッチンペーパーや天ぷら敷紙に重ならないように並べる。
ハンバーグ	1個(90g)	600W	1分10秒～1分30秒	—	—
煮物	1人前(200g)	600W	2分～2分10秒	—	—
カレー・シチュー	1人前(200g)	600W	1分30秒～2分	する	加熱後、かき混ぜる。
みそ汁	1杯(150g)	900W	約1分10秒	—	加熱前、加熱後もかき混ぜる。
牛乳(冷蔵)	1杯(200ml)	600W	1分30秒～1分40秒	—	加熱後、かき混ぜる。
お酒(室温)	1本(180ml)	1000W	40秒～50秒	—	加熱後、かき混ぜる。
バターロール	3個(80g)	600W	20秒～30秒	—	時間がたつと固くなるので、食べる直前に加熱する。
肉まん・あんまん	1個(90g)	900W	約30秒	—	底の紙を取ってサッと水にくぐらせ、1個ずつゆつたりとラップに包む。
シュウマイ	12個(130g)	1000W	約50秒	する	—
茶わん蒸し	1個(100g)	200W	約4分	—	ムラになりやすいため、手前に置く。すぐ入る場合があるので、様子を見ながら加熱する。

飲み物のあたためるときはふたやラップはしないで、入れる量は容器の7分目程度にしてください。

あたため(冷凍)

食品名	分量	出力	加熱時間	ラップ	コツとポイント
ごはん(冷凍)	1杯(150g)	600W	2分～2分30秒	する	—
ピラフ	1人前(250g)		4分～5分	—	あらかじめ、ほぐしておく。
ハンバーグ	1個(110g)		2分30秒～3分30秒	する	加熱後、ラップをしたまま2～3分蒸らす。
シュウマイ	1袋(170g)		3分～3分30秒		両面に水を振りかける。
肉まん・あんまん	1個(90g)		約1分10秒		底の紙を取ってサッと水にくぐらせ、1個ずつゆつたりとラップに包む。
ミックスベジタブル	100g		2分～3分	—	小さく切ったにんじんなどの少量加熱は、火花が出ることがあります。100gより少ない場合は、深めの容器に野菜50gと水50mlを入れ、ラップをかけ約1分加熱する。
グラタン	1人前(200g)		5分～6分	—	—

平たく（厚さも3cm以下）均一に、1人前ずつ包んで冷凍しておくとうちにあたたまります。

⚠ 警告

- お弁当等のゆで卵やアルミケース、調味料等は取り出してから加熱してください。破裂や発煙の恐れがあります。
- 食品は必要以上に加熱すると焦げたり、発煙・発火の恐れがあります。様子を見ながら加熱してください。

⚠ 注意

- イカのあたためは、はじけることがあるため、ラップをかけ、出力「200W」で様子を見ながら加熱してください。
- あんまは、あんが先に熱くなり、必要以上に加熱すると焦げたり、発煙・発火の恐れがあります。加熱時間は控えめにしてください。

ご注意

加熱後、容器が熱くなっているので、ふきんなどで気をつけて取り出します。

ゆで野菜

●水けを残して、食品のみをラップ等で包み加熱します。

	食品名	分量	出力	加熱時間	ラップ	コツとポイント
葉菜・花果菜	カリフラワー・ブロッコリー	100g	900W	約1分	する	小房に分け、あらかじめ食塩水につけてアク抜きをする。重ならないよう並べる。
	アスパラガス	100g		1分～1分30秒		根元のかたい皮を取り、あらかじめ軽く塩でもんでおく。穂先と根元を交互に並べる。
	キャベツ・白菜	100g	600W	1分30秒～約2分		太い芯はそいでおく。
	ほうれん草	200g		2分～2分30秒		葉と茎を交互に重ねる。
	かぼちゃ	200g		3分～3分30秒		大きさをそろえて切り、重ならないよう並べる。
根菜	にんじん	100g	600W	2分～2分30秒	する	大きさをそろえて切り、水けを残し、重ならないよう並べる。
	だいこん	200g		約3分		小さく切ったにんじんなどの少量加熱は、火花が出ることがあります。100gより少ない場合は、深めの容器に野菜50gと水50mlを入れ、ラップをかけ約2分加熱する。
	じゃがいも	1個(150g)	3分30秒～4分	大きさをそろえて切り、重ならないよう並べる。		
	さつまいも	100g	100W	約15分		丸ごとのときは、水けを残し容器に入れ、ラップをかける。
						切って使うときは大きさをそろえる。水けを残し、重ならないよう容器に並べ、ラップをかける。
						丸ごとのときは、濡らしたキッチンペーパーを巻いた上からラップを巻く。
						切って使うときは大きさをそろえて水けを残し、重ならないよう容器に並べ、ラップをかける。

ご注意

水分の少ない野菜(根菜など)は、必要以上に加熱すると焦げたり、発煙・発火の恐れがあります。様子を見ながら加熱してください。

やわらかくする

	食品名	分量	出力	加熱時間	ラップ	コツとポイント
冷蔵	バター(食塩不使用)	100g	200W	約30秒	－	加熱ムラができないように大きさをそろえて切り、重ならないよう容器に並べる。様子を見ながら加熱する。

解凍

●ラップ等は外して解凍します。

	食品名	分量	出力	加熱時間	ラップ	コツとポイント
解凍	ひき肉	100g	200W	約2分	－	平たく(厚さも3cm以下)均一に、1回分(100g～400g)ずつ小分けに包み、冷凍しておくとお手解凍できます。
		200g		約4分		
		300g		約5分30秒		
		400g		約9分		

解凍が足りない場合は、様子を見ながら、追加解凍してください。

温度過昇防止機能について

連続使用や水分の少ない食品を加熱すると温度過昇防止機能がはたらき、運転が自動的に停止する場合があります。約30分ほど休止してください。温度過昇防止機能が自動的に解除され、再びご使用になれます。

お手入れ方法

本体の外側や庫内は、以下の注意を守って、定期的にお手入れを行ってください。

庫内などに**食品カスや油などが付着したまま使用しないでください。発火・発煙、さび・においの原因になります。**

注意



- お手入れは、本体や庫内が冷めてから行ってください。
- お手入れは、電源プラグをコンセントから抜き、電源が切れた状態で行ってください。
- 市販の電子レンジ清掃剤をご使用になるときは、必ず説明書に書かれた加熱時間を守ってください。

お手入れの際、次の物は使用しないでください。使用すると、傷が付いたり、色がはがれたりします。

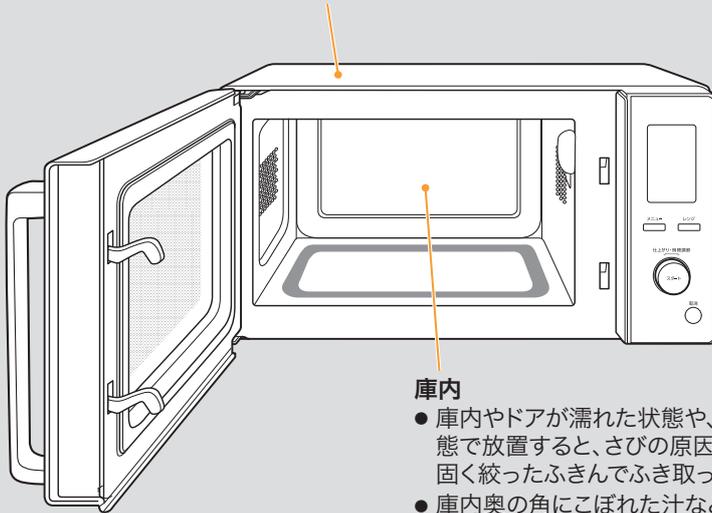
- 金属たわし
- シンナー・ベンジン・アルコール
- 住宅用・家具用合成洗剤(アルカリ性)
- ガラスクリーナー
- 換気扇用洗剤
- 漂白剤
- スプレー式の洗剤 (液体が本体内部に入ると、さびなどの原因になる)

本体(外側)

- 固く絞ったふきんで水ふきします。
- 汚れがひどいときは、薄めた台所用中性洗剤をしみ込ませた布でふき、その後、水ふきして洗剤をふき取ります。

ご注意

- すき間に洗剤を入れないようにしてください。

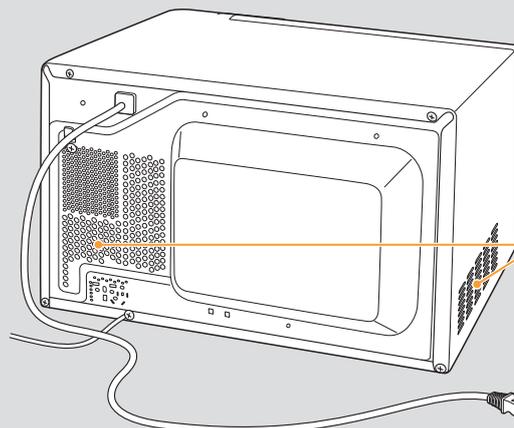


庫内

- 庫内やドアが濡れた状態や、油や食品カスがついた状態で放置すると、さびの原因になります。放置せず、都度、固く絞ったふきんでふき取ってください。
- 庫内奥の角にこぼれた汁などがたまると、さびの原因になります。都度、固く絞ったふきんでふき取ってください。
- 汚れが取れにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使い、固く絞ったふきんでふいてください。

庫内底面

- 汚れが取れにくい場合は、市販のクリームクレンザー(研磨剤入り/粉末不可)少量を丸めたラップに付けてこすると、取れやすくなります。周囲のシリコンパッキンや庫内塗装面は傷がつくのでこすらないでください。



排気口・吸気口

乾いた布でほこりをふき取ります。

電源プラグ

コンセント付近に付いたほこりは、乾いた布でふき取ります。

こんなときは 困ったときにお読みください

仕上がり

どうも仕上がりが上手にいかないと思ったら、次の項目を確認してください。

	症状	原因	対応	
レンジモード	食品が熱くなりすぎる	<ul style="list-style-type: none"> ●あたためる分量が少なすぎませんか。 ●飲み物をあたためましたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●あたためる分量は100g以上にしてください。 ●飲み物は、「メニューモード 飲みもの」であたためてください。 	
	食品があたたまらない	<ul style="list-style-type: none"> ●食品が金属容器やアルミホイルで覆われていませんか。 ●容器の種類によって仕上がり状態が変わることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●食品を金属容器やアルミホイルで覆わないでください。 ●ダイヤルで時間を調節してください。 	
メニューモード	メニューモードで食品が熱くなりすぎたり、あたたまらない		<ul style="list-style-type: none"> ●調理物に合わせた設定にしてください。 ●仕上がり調節を「強」または「弱」に設定してください。 	
	あたため 冷凍食品	食品が熱くなりすぎる	<ul style="list-style-type: none"> ●容器にふたをしていませんか。 ●深さのある容器を使っていませんか。 ●調理物の量が少なすぎませんか。 ●容器は正しい位置に置かれていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ふたをしていたり、容器が深かったりすると赤外線センサーが正しく検知できません。「レンジモード」で様子を見ながらあたためてください。 ●容器は庫内の表示を参考に正しい位置に置いてください。
		真ん中は冷たいが、周囲が熱く、加熱ムラができる	<ul style="list-style-type: none"> ●真ん中は電波が届きにくいいため、均等に温まりにくくなります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●食品は庫内の中央に置いてください。また、量が多いときは、複数の容器に小分けにすると、均等に加熱されます。チャーハンやパスタなどは加熱後、よく混ぜてください。 →13,16ページ
	飲みもの	飲み物が熱くなりすぎる	<ul style="list-style-type: none"> ●容器の置き方は合っていますか。 ●少量で加熱していませんか。 ●口のすばまった容器やお銚子を使っていませんか。 ●量や温度の異なる物を同時に加熱していませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●容器は庫内の表示を参考に正しい位置に置いてください。 ●量が少なかったり、異なる量や温度の物は正しく検知できない場合があります。 ●深さに対して口が広い容器を使うか、「レンジモード」で様子を見ながらあたためてください。
			解凍	食品が煮えた
	すぐに止まり、解凍できない	<ul style="list-style-type: none"> ●解凍する食品の表面が溶けていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●センサーは食品の表面温度を検知して自動停止しますが、表面が溶けていると解凍されたと判断し、解凍される前に停止します。解凍する際は、冷凍庫から出して表面が凍った状態をご利用ください。また表面が溶けた場合は手動の100Wで時間設定をして解凍してください。 	

エラー表示

症状(表示)	原因	対応
hot	<ul style="list-style-type: none"> ●連続使用などで本体が高温となったときは、製品保護のために「hot」と表示されます。 	<p>メニューモード</p> <ul style="list-style-type: none"> ●メニューモードはあたため、解凍、飲みもの、冷凍食品モードをお使いいただけますが、通常よりも調理時間のムラや加熱ムラが出やすくなります。5分ほど庫内を冷まして、「hot」の表示が消えてからお使いください。 <p>レンジモード</p> <ul style="list-style-type: none"> ●レンジモードは600W、500W、200W、100Wをお使いいただけますが、1000W、900Wはお使いいただけません。600W以下で加熱するか、5分ほど庫内を冷まして、「hot」の表示が消えてからお使いください。

エラー表示 (続き)

症状(表示)	原因	対応
E01	●「メニューモード(あたため、解凍、飲みもの、冷凍食品)」では、冷凍保存した食品の温度が低い場合、温度上昇が検知できず、エラー「E01」が表示される場合があります。	●レンジモード600Wで様子を見ながらあたためてください。
	●冷蔵品・常温品(冷凍保存以外)の食品のあたためでエラー「E01」が表示される場合は、温度検知の異常です。	●故障です。電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または「お客様サービス係」まで修理をご依頼ください。
E02	●庫内温度が高いため、センサーが食品の温度を検知していません。	●ドアを開けて庫内の温度を冷ましてから使用してください。
	●食品が正しい位置に置かれていないため、センサーが食品の温度を検知していません。	●食品を正しい位置に置いてください。 → 10ページ

本体

故障かなと思ったら、修理に出す前に次の項目を確認してください。

	症状	原因	対応
音	加熱中にファンのブーンという音が大きくなったり、小さくなったりする	●故障ではありません。ファンの動きを調節することによって、加熱をコントロールしています。	●そのままご使用ください。 ●ファン回転中は、電源プラグを抜かないでください。
	庫内灯が暗くなったり、明るくなったりする	●故障ではありません。出力が切り替わる際に、庫内灯にかかる電圧が変化するため明るさが変わります。	●そのままご使用ください。
動作	動かない	●電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか。 ●ドアはきちんと閉まっていますか。 ●ブレーカーは落ちていませんか。	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 ●ドアをきちんと閉めてください。 ●ブレーカーを上げてください。
	表示が勝手に切り替わったり、スタートしても正しく動作しない	●表示部に「d」と表示されませんか?店頭用デモモードになっています。	●デモモードを解除してください。 → 9ページ
	加熱してもすぐに止まる動かない	●庫内の温度が高温になると、温度過昇防止機能がはたらき、電源が切れます。	●ドアを開けて庫内の温度を冷ましてから使用してください。
	表示部に何も表示されない	●調理後しばらく何もしないと、オートオフ機能がはたらき、電源が切れます(約1分後)。	●ドアを開閉することで電源が入ります。ドアを閉めると表示部に「あたため」と表示します。
	加熱中に電源が落ちる(家のブレーカーが落ちる)	●電気の容量が定格容量を超えていませんか。	●ほかに使用している電化製品の使用を中止してください。それでも落ちる場合は、販売店に相談してください。
	火花が散る	●金や銀、金属が付いた容器を使用していませんか。 ●食品のカスなどが庫内に付着していませんか。	●金や銀、金属が付いた容器は使用しないでください。 ●食品のカスをふき取ってください。
	煙が出るにおいがする	●庫内やドア内面に食品のカスや油が付いていませんか。 ●長期間ご使用にならなかったときは、においや煙が出ます。 ●はじめて使うときは、においや煙が出ます。	●庫内やドア内面に付いた食品のカスや油分をふき取ってください。 ●本体のお手入れをしてください。 → 20ページ
	加熱中にドアが曇ったり、下部に水滴が付いて落ちる	●食品から出た水分が水蒸気となり、ドアを曇らせたり、水滴が付きます。	●加熱が終わって、本体や庫内の温度が冷めてから、水滴をふき取ってください。
	ドアを開けたときや、加熱中に庫内灯が点灯しない	●庫内灯の故障か取付の緩みの可能性があります。	●分解・修理が必要ですので、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店、または「お客様サービス係」まで修理をご依頼ください。

引っ越しについて

本製品は電源周波数50Hzおよび60Hzに自動対応しています。
日本国内の周波数が異なる地域に引っ越しされても、そのままご使用になれます。

アフターサービス・仕様

1. 保証書

- 保証書は本書とともにパッケージの中に入っています。
- 保証書は、「お買い上げ日」と「販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり、大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から1年間です。
 なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3. 修理を依頼される時

本書(取扱説明書)の内容をお確かめいただき、なお異常があるときは、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

- **保証期間中の修理**
 保証書の規定により無料で修理します。
 製品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「お客様サービス係」までお申し出ください。
- **保証期間が過ぎている修理**
 修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

4. 補修用性能部品の最低保有期間

- 本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にお問い合わせください。

〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金
部品代	修理に使用した部品代金

〈修理部品について〉

修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。



お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

お客様サービス係

 **0120-337-455** FAX(0256)93-1077
お電話承り時間：平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時
 〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

仕様

定格電圧	AC100V	質量	約9kg
定格周波数	50Hz/60Hz共用	電源コードの長さ	約1.4m
定格消費電力	1,420W	区分名	A(単機能レンジ)
定格高周波出力	1000W※、900W※、600W、500W、200W、100W	電子レンジ機能の年間消費電力量	57.0kWh/年
発振周波数	2,450MHz	年間待機時消費電力量	0.9kWh/年
外形寸法(ドアハンドル含まない)	幅460mm×奥行350mm×高さ275mm	年間消費電力量	57.9kWh/年
加熱室有効寸法	幅315mm×奥行330mm×高さ195mm		

※定格高周波出力1000W(1分30秒)、900W(3分)は短時間高出力機能であり、定格連続高周波出力は、600Wです。600Wへは、自動的に切り替わります。

- 年間消費電力量(kWh/年)は、省エネ法・特定機器「電子レンジ」新測定法による数値です。区分名は法に基づき、機能、加熱方法および庫内容量の違いで分けています。
- 実際にご使用になるときの年間消費電力量は、周囲環境、使用回数、使用時間、食品の量などによって変化しますので、目安としてご覧ください。

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

愛情点検



★長年ご使用の電子レンジの点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- 【スタート】ボタンを押しても食品が加熱されない。
- 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードに傷が付いていたり、電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 自動的に切れないときがある。
- 焦げくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がする。
- ドアに著しいガタがある。
- ドアや庫内に著しい変形がある。
- 本体に触れると電気を感じる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。



特定の化学物質の含有について

- この製品はJ-Moss (JIS C 0950 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法) に基づく含有マークを表示しております。
- 特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有についての情報を公開しています。詳細は、Webサイトを覧ください。 http://www.twinbird.jp/c/jmoss_range.php/

TWINBIRD

ツインバード工業株式会社

〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

修理サービスに関するお問い合わせ

お買い上げの販売店または「お客様サービス係」へご相談ください。

お客様サービス係



0120-337-455 お電話承り時間
平日（月曜～金曜）午前9時～午後5時

FAX (0256) 93-1077 ホームページアドレス <http://www.twinbird.jp>